

日下田 正 先生による 第1回 染色特別授業

7月21日(火)、宇都宮短期大学附属高等学校アートルームにおいて、生活教養科2年「ファッション専門分野生徒」が、益子在住の染織家 日下田正先生(栃木県無形文化財指定、栃木県文化功労者)による特別授業を受講しました。

今回は、藍と紅花の2種類の草木を使用して染色をしました。藍は生葉をジューサーで青汁にした染液を用いて、染色しました。紅花は黄色の色素をすべて水で洗い流し、炭酸カリウムで赤い色素を抽出し、クエン酸で中和し、その染液を用いて染色をしました。2色ともシルクのハンカチーフを染色しましたが、爽やかな青色(藍色)と美しい桃色(紅花色)に染め上げることができました。

授業を通じて生徒たちは、化学染料に頼らず、天然素材を用いた手作り(手仕事)による草木染めの技法を科学的に学ぶことができました。9月には、紡毛機を使用して、藍や茜・蘇芳・槐などで染めた原毛を紡いで糸にするスピニング実習を行う予定です。

ジャパンプルーとは



青汁作り



赤色の抽出



綺麗に染め上がりました!

